



2026 Sporting regulation

【2026 ビースポーツ ロードスター・マスターズ競技規定】

B-SPORTS

1. 大会

「ビースポーツ ロードスター・マスターズ」は、国際自動車連盟（FIA）の国際モータースポーツ競技規則に準拠した JAF 国内競技規則およびその細則、本競技規定、ロードスター・パーティレースIII車両規定およびサーキット規定に従って開催される。全ての参加者は、これらの諸規定に精通し、これを遵守するとともにオーガナイザーおよび競技役員の指示に従う義務を負うものとする。

2. 組織

- 1) 本競技は、ビースポーツ ロードスター・マスターズ事務局（以下 B-Sports）が「ビースポーツ ロードスター・マスターズ」の名称を付したレースを組織、開催する。
- 2) B-Sports は、シリーズとしての統一性維持および各オーガナイザーの競技役員に協力する目的で「レースディレクター」を各大会に派遣する。その際、レースディレクターは各オーガナイザーと協議をしながら役務を遂行する。レースディレクターの役務（義務）は、大会期間中（参加受付から正式結果発表まで）に発生した違反行為の判定に関して、シリーズを通じた独自の判断に基づく提言を各オーガナイザーに行い、大会における競技運営および判定基準の平準化を図るものとする。ただしレースディレクターは、レース運営や判定に関する最終的な判断を下す権限を各オーガナイザーに委譲する。

3. 大会スケジュールおよびレース距離

大会	開催日	開催場所	周回数
第 16 回	4 月 16 日（木）	筑波サーキット	12 ラップ（約 25km）
第 17 回	6 月 25 日（木）	袖ヶ浦フォレスト・レースウェイ	11 ラップ（約 27km）
第 18 回	11 月 5 日（木）	袖ヶ浦フォレスト・レースウェイ	11 ラップ（約 27km）

※開催日、内容は諸事情により変更する場合がある。

※各大会のタイムスケジュールは公式通知にて示す。

4. 参加クラス

- 1) 本レースは、以下の 10 のクラス区分により混走でレースを実施する。

M40	レース開催日に 40 歳以上～44 歳以下のドライバーを対象としたクラス。
M45	レース開催日に 45 歳以上～49 歳以下のドライバーを対象としたクラス。
M50	レース開催日に 50 歳以上～54 歳以下のドライバーを対象としたクラス。
M55	レース開催日に 55 歳以上～59 歳以下のドライバーを対象としたクラス。

M60	レース開催日に 60 歳以上～64 歳以下のドライバーを対象としたクラス。
M65	レース開催日に 65 歳以上～69 歳以下のドライバーを対象としたクラス。
M70	レース開催日に 70 歳以上～74 歳以下のドライバーを対象としたクラス。
M75	レース開催日に 75 歳以上のドライバーを対象としたクラス。
OPEN	レース開催日に 40 歳以上で、 <u>2023 年～2025 年に国際格式レースや地方選手権以上のレース、ロードスター・パーティレースの各シリーズクラスで 6 位以上の入賞経験があるドライバーを対象としたクラス。</u>
LADIES	年齢不問で女性のドライバーを対象としたクラス。

- 2) 同一開催日に、異なるドライバーが同一車両でそれぞれ異なるクラスに参加することは認められない。また、同一開催日に、一人のドライバーが複数のクラスに参加することは認められない。
- 3) 各大会において、総参加台数が 10 台未満の場合は、そのレースの挙行を中止、レースの合併、レース距離の短縮を行う場合がある。

5. 参加資格

- 1) ドライバーは、レース開催日に 40 歳以上（ただし LADIES クラスを除く）で、有効な JAF 国内競技運転者許可証 A 以上の所持者であること。
- 2) ドライバーは、有効なブレインズモータースポーツクラブ正会員で、同クラブを通じてスポーツ安全保険に加入していること。
- 3) ピットクルーは 16 歳以上とし、20 歳未満の場合は親権者の承諾を必要とする。
- 4) 同日開催日に他の競技に重複して参加しないことを強く推奨する。また、重複して参加する場合には、いかなる理由があろうとも本レースとそのスケジュールを最優先に参加することが義務づけられる。
- 5) 上記の条件を満たしたドライバーならびにピットクルーでも、B-Sports もしくは各オーガナイザーが本レースに相応しくないと判断した場合、その理由を示すことなく参加申込の拒否を行う。

6. ドライバーおよびチームの遵守事項

- 1) 本競技は、ライバルであり同志でもある仲間達と、スターティンググリッドから同時にスタートし、競り合いながらゴールを目指し、全車が無事にチェッカーを受けたことを喜ぶ、そんなレースの魅力
を純粋に楽しみたい大人達が集う場であることを十分に理解し、他の参加者や競技役員を含む全ての関係者への思いやりを持ち、スポーツマンシップに則り、楽しく安全に完走することを第一に

心掛けること。

- 2) ドライバー、チームクルー（ゲストを含む）の行動に関して、チームが連帯して責任を負わなければならない。基本的にドライバーとして登録された者をチームの責任者とする。チームの責任者が異なる場合には、当初の責任者より異なる者を指名した旨の委任状をB-Sportsにあらかじめ提出しなければならない。
- 3) 車両検査の立ち合いや、競技中にピット作業エリアやサインガードに立ち入ることができるのは、参加申込時に登録されたピットクルーに限られる。各自のピット作業エリアは基本的に年齢順にB-Sportsが定める位置とし、それに対する異議は認められない。
- 4) 競技中、ドライバーは定められたトラックのみを使用するものとする。また、常にサーキットにおけるドライビングマナーに関する国際競技規則の規定を遵守しなければならない。
- 5) 競技中、ドライバーは運転席側窓を全閉しなければならない。競技中に違反が判明した場合にはオレンジディスクで対応する。
- 6) ドライバーは常に走路を使用しなければならない。疑義を避けるため、走路端部を定めている白線は走路の一部と見なされるが、縁石は走路の一部とは見なされない。車両のいかなる部分も走路と接していない状態である場合、ドライバーは走路を外れたと判断される。走路を外れた車両のドライバーは再度復帰することができるが、当該行為が安全であることが確認され、持続的なアドバンテージを得ることが一切ない場合にのみ行うことができる。ドライバーは正当な理由なく故意に走路を外れることはできない。
- 7) 順位を守るために2回以上進行方向を変更することは認められない。順位を守るためにラインを外れたドライバーがコーナリングのためにレーシングラインに戻ることは認められるが、コーナーに接近する際に走路の端部と自身の車両の間に少なくとも車両1台分の幅を空けることで他車との接触を回避することを推奨する。
- 8) 直線走路で、あるいはブレーキングエリアの手前で、自らの順位を守ろうとするドライバーは、その最初の動きで走路の全幅を使用することができるが、追い越しを試みようとする車両の大部分が、順位を守る側の車両に横付けになった状態でないことを条件とする。車両が横付けになった状態で走行を行う間、互いに走路をはみ出さぬよう、走路の端部と自身の車両の間に相手の車両分の幅を空けなければならない。疑義を避けるため、追い越しを試みる車両のフロントバンパー部分が先行車両のリアホイールにかかっている状態である場合、それは「車両の大部分」として見なされる。
- 9) 走路端部を越えて故意に車両を押し出す、あるいはその他通常でない進路変更など、他のドライバーの妨害となる行為は禁止される。また、他車に自車の存在を知らせるためのライトオン走行（ハイビームも含む）は認められるが、ライトのパッシングは、前車のペースが明らかに遅く、幻惑行為にならない使用頻度と車間の場合にのみ認められる。

- 10) レース中、車両がその他の車両に追いつかれて、その車両が周回遅れになろうとしている時、追いつかれた車両のドライバーは、直ちに最初の可能な機会に自分より速いドライバーに追い越させなければならない。その際は、自車の走行ライン側にウィンカーランプを点灯させることを推奨する。追いつかれたドライバーが自分より速いドライバーに追い越しをさせない場合、追いつかれたドライバーに対し、後続のドライバーに追い越させなくてはならないことを示すために青旗が振動表示される。
- 11) ドライバーが自己の意志に反して、またその他の理由により、やむを得ず車両を停止する場合には、当該車両をできるだけ速やかに走路の外側に移動し、ドライバーも安全を十分確認した上でヘルメットを装着したまま降車してコース外に退避し、他の車両の支障とならないように配慮しなければならない。ドライバー自身がその車両を危険となるような場所から移動できない場合、当該車両のエンジンが稼動中であっても、競技役員がこれを移動できる。この場合、ドライバー自身で違反なくレースに復帰したときにはペナルティは科されない。
- 12) ドライバーは、コースに沿って車両を押ししたり、または車両を押し進めてフィニッシュライン（決勝線）を横切ることにはできない。これに反した場合は失格とする。
- 13) ドライバーに対しては、FIA国際競技規則付則H項に定める信号によって指示が与えられる。
- 14) 万一、他の車両と接触した場合には、正式競技結果が発表される前に、接触した双方のドライバー同士が話し合い、互いに遺恨を残さぬよう努力しなければならない。競技中の接触は互いの自己責任とし、その補償を他に求めてはならない。

7. 参加車両、ゼッケンの表示、ドライバー、ピットクルーの装備品

1) 参加車両

- ① ND（車両型式：ND5RC/ND5RE）ロードスターNR-Aとし、最新のロードスター・パーティレースIII車両規定に合致した車両でなければならない。合致していない場合には失格とする。
- ② 基本的に全車を対象にした車検は行わない。ただし、B-Sportsの独自の判断や参加者からの抗議に応じて、競技期間中の前後を抜き打ちで車検を行う場合がある。

2) ゼッケンの表示

- ① すでにパーティレースに参加している者には、その指定ゼッケンの使用が推奨され、参加申込時に入手済みのゼッケン番号を申告すること。
- ② 上記以外の者には、B-Sportsが指定した番号の競技ゼッケンを競技会当日に支給するため、公式車両検査までに左右前部ドア（窓への貼付不可）に確実に貼付すること。また、参加申込時にゼッケン番号は「0」で申告すること。

- ③上記以外の競技用ゼッケンを貼付している場合、取り外すか、番号が分からないようテープなどで覆うなどの対処をすること。

3) ドライバーの装備品

- ①JAF 国内競技車両規則第 5 編細則「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する細則」に従った装備品（競技用ヘルメット/耐火炎レーシングスーツ/耐火炎レーシンググローブ/耐火炎レーシングシューズ/耐火炎アンダーウェア/耐火炎ソックス/頭部および頸部の保護装置「FHR システム（HANS）」）を整えることを強く推奨する。
- ②上記の基準を満たさない装備品であっても、下記の基準を満たした装備品を整えなければならない。いずれも製造後 10 年以内を推奨するが、使用期限は問わない。
- ・ヘルメット：PSC や JIS 以上の規格に合致し、耳の露出しないもの（2 輪用も可）
※いかなる理由があろうとも、規格マークや製造年の表示が無いものは基準に合致していないものとみなす。
 - ・グローブ：指が露出せず、滑り止め処置がされた、難燃性素材のもの
 - ・服装：メタ系アラミド繊維素材（ノーメックス、コーネックス）の 4 輪用レーシングスーツ形状（ワンピース型で救出用の肩ベルトを備えていること）のもの
 - ・靴：ソールに滑り止め処置がされ、かかと部分までソールでカバーされているもの
- ③ヘルメット及び装備品へのウェアラブルカメラの装着は禁止する。
- ④競技中に装備品の違反ならびにその使用方法が不適切であることが判明した場合にはオレンジディスクで対応する。

4) ピットクルーの装備品

競技中、ピット作業エリア内に入るピットクルーは、ヘルメット、メカニックスーツ、メカニックグローブ、安全靴を整えることを強く推奨する。

8. 広告スペース

- 1) 参加者は、B-Sports およびオーガナイザーの要請がある場合には広告スペースを提供しなければならない。シリーズスポンサーおよびイベントスポンサーと競合する個人スポンサーロゴの露出は認められない。参加者は、参加者自身による特定の広告が拒否されるかもしれないことをあらかじめ承知していなければならない。窓などの視界を妨げる位置や、外部から容易に視認できない位置、逆さなどの不適切な方向に貼付してはならない。
- 2) B-Sports および各大会オーガナイザーが参加クラスを識別するステッカー類を配布する場合がある。その場合には、指定の位置に貼付しなければならない。
- 3) 参加者は、参加者自身による特定の広告が拒否されるかもしれないことをあらかじめ承知していな

なければならない。

4) これに違反した場合、正式結果発表後に判明した場合でも、遡及してペナルティが科される。

9. 参加申込

1) 参加申込は、B-Sports の Web イベントエントリー (<https://www1.ms-event.net/bspweb/>) から行うこと。

2) 参加料の支払いは、クレジットカードによるオンライン決済とする。

3) 基本的に各サーキットの決勝出走上限台数を参加受付定員とする。

4) 参加申込が成立するのは、規定の方法による参加申込の意思表示と、参加料の入金の両方を B-Sports が確認できた時点とする。定員に達して受付を締め切る場合は、参加申込が成立した先着順とする。

5) 参加申込の意志を表明後、やむを得ずその意志を取り消す場合には、表明後 3 日以内（ただし、参加受付期間中かつ参加受付定員に達してないこと）に参加者から B-Sports まで必ず連絡すること。連絡が無い場合や、参加受付期間後、参加受付定員に達して以降の連絡の場合は、参加の意思に関わらず参加料金が請求され、支払いが確認できるまでは次戦以降の参加も受理されない。

6) 受付期間

各大会とも開催日の 40 日前より 20 日前まで、もしくは各大会オーガナイザーの指定する期間とする。

7) 参加申込書に記入するプログラム車両名は 15 文字以内（機種依存文字や記号は不可）とし、必ず当該参加クラス車両名（「ロードスター」または「ROADSTER」の文字）が含まれていなければならない。使用が認められない文字や記号が含まれていたり、車両名が正しく含まれていない場合には、B-Sports の判断により車両名を変更するものとし、その変更に対する異議は受け付けられない。

8) 参加申込受付期間後、各大会オーガナイザーで書類審査の上、特に指定がない場合はエントラント宛に正式参加受理書を発送する。

10. 参加料および保険

1) 参加料

①全クラス：44,000 円（税込／1 エントリーにつき）

②参加料には、ドライバー 1 名、競技車両 1 台のパスを含む。

2) 登録料（追加パス）

- ①ピットクルーは1エントリーにつき3名まで登録できる。今シーズンの登録料は無料とする。車検を行う場合にはドライバー本人または登録されたピットクルーが受けること。
- ②サービスカーは1エントリーにつき3台まで登録できる。今シーズンの登録料は無料とする。サービスカーは指定された場所に駐車すること。なお、サーキットの通常営業日での開催の場合、サービスカーの登録料は無料とするが、事前に台数の登録は行うこと。
- ③登録料は参加料と同時に支払わなくてはならない。
- ④上記以外の同伴者や車両については、各大会もしくは会場で定められた入場料および駐車料が必要となる。

3) 保険

- ①ドライバーはブレインズモータースポーツクラブを通じてスポーツ安全保険に加入することが義務付けられる。
 - ②ピットクルーは保険の加入は義務付けられないが、各チームの責任において何らかの保険に加入することを強く推奨する。
- 4) レースが中止になる場合を除き、一旦支払った参加料は返還されない。ただし、レースが中止になったり、定員に漏れる等の理由で参加が受理されなかったり、本規定9.5)に規定された期間内に参加を取り消した場合には、返金事務手数料として総支払額の10%を差し引いた全額が返金される。

11. ソフトトップ

公式予選、決勝を通じてからの指示がない限り、オープン状態での走行が義務付けられる。

12. 公式予選

- 1) ドライバーは、必ず定められた時間に行われる当該クラスの公式予選に参加しなければならず、その際に使用する車両は、公式車両検査に合格したものに限られる。
- 2) 予選方法はタイムトライアル方式とする。義務周回数は定められないが、少なくとも1周はラップタイムが計測されなければならない。予選走行に関する諸規則は特に定められていない場合は決勝レースと同様とする。
- 3) 公式予選結果の順位は、クラスに関わらず、それぞれのドライバーが記録した最高ラップタイム順に決定される。2名以上のドライバーが同一の最高ラップタイムを記録した場合には、最初にそのタイムを出した車両が優先され、以下この方法に準じて順位が決定される。
- 4) 走路外走行によりアドバンテージが認められた場合や黄旗区間を走行したことで記録したベストラップタイムは無効となる。

- 5) 公式予選中にコースアウトした車両は、当該予選中、赤旗中断中およびインターバル中に自力で走行し自己のピットに戻った場合は、以降の公式予選に出走することが許される。ただし、その際に競技役員の手助けを受けた場合は、再びコースインすることは許されない。
- 6) 赤旗原因と特定されたドライバーには決勝レースは最後尾スタートのペナルティが科される。黄旗原因と特定されたドライバーはベストラップタイムに1秒以上加算のペナルティが科される。

13. ピット規定

- 1) ピットインの場合は、手または方向指示器で後続車に合図をし、ピットレーン入り口から徐行しながら減速帯を進行し、十分に減速してから停車帯に入り自己のピット作業エリア前で停車し、エンジンを一旦停止しなければならない。
- 2) 競技中はピットガレージ内での作業は禁止する。競技中にピットガレージ内やパドックに車両を進めた場合、予選中は走行終了、決勝中はリタイアしたものと判定される。
- 3) ピットレーン通過速度は、各サーキット指定の制限速度に従うものとする。
- 4) 自己のピットエリアで作業できる人数は、ピットクルーもしくはドライバーとして登録された3名までとする。
- 5) 自己のピット前を通り過ぎてしまった場合は、競技役員の許可を得た後、自己のピット要員によって押し戻すことができる（ピット内でのリバースギヤの使用は、厳重に禁止される）。
- 6) 競技中にピットレーンに進入した場合は、ドライブスルーペナルティやペナルティストップを科された場合を除き、必ず自己のピットに停車しなければならない。
- 7) ピット作業の場合を除いて、ピット要員がピット作業エリアに立つことを禁止する。
- 8) 競技中は、ピット作業エリアでのタイヤやラジエータ等の冷却のための水・氷等の使用、燃料や油脂類の補給は禁止される。
- 9) コースへの復帰は競技役員の指示または、ピット出口の信号灯火に従わなければならない。
- 10) 無線機の使用は一切禁止する。ただし、一般に市販される携帯電話同士による通信のみ認められる。
- 11) ピットおよびピット裏にて喫煙やゴミの不法投棄の事実が判明した場合、該当者が判明したかどうかに関わらず、そのピットを指定されたチームの責任者が管理責任を負うものとし、ペナルティが科される。

1 4 . 決勝レース

- 1) レーススタートの方法は、ローリング・スタートとする。ただし、天候その他の事由により他の方法でスタートを行う場合がある。
- 2) フォーメーションラップ開始前までのピットロードからダミーグリッドへの整列時は、B-Sports が特に認めた場合を除き、必ずその車両の動力で推進すること。
- 3) コースイン
 - ①待機場所からコースインしてグリッドに向かう 1 周目の走行を「パレードラン」とし、チームの責任者が指名した乗車定員数以内の者を助手席に乗せて走行することが認められる。
 - ②同乗者はレース用の装備品の着用は不要だが、シートベルトを適切に使用すること。
 - ③コースイン時間に間に合わなかった車両はピットスタートとなる。
- 4) 決勝スタート
 - ①スターティンググリッドは、1×1のスタaggerドフォーメーションに配列される。ポールポジションのグリッド位置は、全てのサーキットにおいて1コーナーに向かってイン側とする。
 - ②3分前ボード表示
ドライバーは車両にて待機し、競技役員を除く全ての者はコース上から退去する。
 - ③1分前ボード表示
ドライバーは車室内に着座したままエンジンを始動する。
 - ④スターターからの緑色旗の振動
オフィシャルカーを先頭に競技車両はスターティンググリッドの隊列を保ちながらフォーメーションラップ（1周）を開始する。この周回中の追い越しは許されない。
 - ⑤フォーメーションラップの際に、スタートに出遅れた車両およびフォーメーションラップ途中で正しい位置が保てなかった車両は最後尾につけるものとする。
 - ⑥フォーメーションラップが開始された時点で、スタートラインの信号灯に赤ランプが点灯され、他のオブザベーションポストではイエローフラッグが提示される。
 - ⑦フォーメーションラップ先導中のオフィシャルカーの速度は、最高 80km/h に保たれる。後続車両は前方車両から 10 車身以上離れぬよう走行しなければならない。また、後続の隊列を乱すような加速や減速は禁止する。
 - ⑧オフィシャルカーは、フォーメーションラップ終了と共にコースから退去する。先頭車両は、スタート信号（緑ランプ）が合図されるまで、最低速度約 70km/h、最高速度約 80km/h を一定に保ったまま走行し、後続の隊列を乱すような加速や減速は禁止する。
 - ⑨最終コーナーの立ち上がりからメインストレートでは、スタート信号が合図されるまで、自車両

に割振られたイン側またはアウト側のスターティンググリッドボックスの列上をはみ出さずに走行しなければならない。

- ⑩ スタート信号は、オーガナイザーが管理するスタート信号により合図される。各車両は、スタートラインを通過するまで他車の追い越しは禁止される。また、加速状態（80km/h を超える速度）に入った車両は、スタートラインを通過するまで、後続の隊列を乱すような不規則な加減速は禁止する。
- ⑪ フォーメーションラップ中に何らかの問題が発生した場合には、スタートラインの信号灯に赤ランプが継続的に点灯され、他のオブザベーションポストではイエローフラッグが提示される。オフィシャルカーが再度先導車両の前に合流し、全車はもう 1 周のフォーメーションラップを行うこととなる。スタート信号による合図が出るまでは決勝時間は開始されないものとする。

15. タイヤ本数の制限

- 1) 公式予選、決勝を通じて使用できるタイヤは 4 本までとする。
- 2) バースト等のやむを得ない理由の場合のみ、技術委員長の判断により追加使用が許される。その際、予選終了後に交換する場合、レースは最後尾スタートとなる。
- 3) B-Sports の許可無くタイヤ交換作業を行った場合には、重大な違反となり、ペナルティを科される。

16. 燃料

- 1) 公式予選中ならびに決勝レース中の給油は禁止とする。
- 2) 競技車両が大会参加時に使用する燃料は、JAF 国内競技車両規則第 3 編第 1 章第 8 条「燃料」に従い、通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている（潤滑油以外のいかなる添加物も含まない）自動車用無鉛燃料を使用すること。
- 3) ガス欠症状を回避するため、十分な量のガソリンを給油して競技に参加することを強く推奨する。安全燃料タンクならびにコレクタータンクの使用は禁止される。ガス欠症状が出た場合、走路内に車両が停止する危険が高いため、速やかに走路外に車両を移動しなければならない。ガス欠が原因で一時的でも走路内で停止した場合、予選時には決勝レースは最後尾スタートのペナルティが科され、決勝レース時には失格とする。

17. レース終了および順位決定

- 1) 優勝車両はそのレース距離の走行を最短時間で終了した車両とする。その順位決定は周回数とコントロールラインの通過順に基づいて行われる。

- 2) 発生理由を問わず、決勝レース中に審判員から他車との接触の判定を受けた場合には、順位認定はされないものとする。ただし、接触した相手が決勝レース以降にタイムペナルティ（降格）以上の罰則を科された場合には、順位を認定する。また、この判定に関する抗議は受け付けられない。
- 3) 優勝車両のレース距離の 50%（小数点以下切捨て）に満たない車両には順位の判定が行われないものとする。

18. 車両保管

- 1) 競技車両は、予選・決勝終了後に当該大会競技役員により車両保管される場合がある。その際には、競技参加者は車両保管解除後に車両整備が認められる。B-Sports から特別に許可を得た場合や、ソフトトップやボンネットのやむを得ない開閉作業を除き、車両保管中は車両には一切手を触れてはならない。
- 2) 競技車両は、参加受付後からレース終了後の正式結果発表まで、当該サーキットの場外へ持ち出すことはできない。
- 3) 大会期間中にリタイアした場合、車両を当該サーキットの場外へ持ち出せるのは、リタイア届けの受理後とする。届け出が無く、車両を正式結果発表前に当該サーキットの場外へ持ち出した場合にはペナルティを科される。

19. 車両整備

大会期間中に認められる車両に関する作業は、一般公道用途における車両の日常点検整備(脱着を伴う作業を含む) に順ずる以下の内容のみとする。ただし、B-Sports の許可がある場合はこの限りではない。

- ① エンジンオイル、トランスミッションオイル、デフオイルの点検補充、交換
- ② ブレーキフルード／クラッチフルードの点検補充、交換、エア抜き作業
- ③ 冷却水、クーラントの点検補充
- ④ バッテリーの点検、充電、液の補充
- ⑤ エアフィルターの点検、清掃
- ⑥ タイヤの点検、エア圧点検、調整
- ⑦ ホイールの点検、取り付けの確認。
- ⑧ ウォッシャー液量点検、ウォッシャー液の補充
- ⑨ 燃料給油
- ⑩ 競技ゼッケン、各種ステッカーの交換
- ⑪ 部品の取り外しを伴わないアライメント調整
- ⑫ 本規定で許されたアクセサリ等の自動車部品の脱着
- ⑬ エアバック作動コネクタの接触または接触解除

- ⑭アクティブボンネット作動コネクタの接触または接触解除
- ⑮ブレーキ自動制御システムの作動停止に必要な最小限の作業
- ⑯上記項目以外で車両より部品の取外しを伴わない各部の清掃

20. 旗信号の意味

1) 競技会で使用する信号合図は、国際モータースポーツ競技規則付則H項および補助信号機によって行う。

旗の種類	指示内容
赤旗	競技の中止。ドライバーは直ちに速度を落とし、必要に応じ停車できる態勢をとり、規定に指定された場所に進行すること。追い越し禁止。
黄旗	<p>1本の振動: 速度を落とし、追い越しをしないこと。進路変更する準備をせよ。トラックわき、あるいはトラック上の一部に危険箇所がある。ドライバーが速度を落としたことが明らかでなければならない。これは、ドライバーが、手前で制動したこと、および/またはそのセクターで速度を著しく落としたことを意味する。</p> <p>2本の振動: 速度を大幅に落とし、追い越しをしないこと。進路変更する、あるいは停止する準備をせよ。トラックが全面的または部分的に塞がれているような危険箇所がある、および/あるいはマーシャルがトラック上あるいは脇で作業中である。予選中は、ドライバーが有意義なラップタイムを達成しようとしていないことが明らかでなければならない。これは、ドライバーが当該ラップを放棄するべきであることを意味する(次のラップで走路が十分片付いている場合がありうるので、ピットへ入らなければならないことを意味するものではない)。</p>
緑旗	トラックが走行可能（コースクリア）。黄旗区間解除。
赤の縦縞のある黄旗	路面が滑りやすい。
白旗	トラック区間に低速走行車両がある。
青旗	他の競技車両が追い越しを行おうとしている。
黒旗	指示を受けた場合は、次の周回時にピットの指定された場所に停止すること。
オレンジ色の円形のある	車両に機械的欠陥が生じている。指示を受けたドライバーは、次の周回

黒旗	時に自己のピットに停止すること。
黒と白に斜めに2分割された旗	スポーツ精神に反する行為をしたドライバーに対する警告。トラックリミット違反の警告。
チェッカー旗	競技終了。

2) 信号合図に従わない場合は罰則が適用され、この判定に対する抗議は受け付けられない。

2.1. 本規則の違反

本規則に対する違反の罰則は、大会期間中および期間外でも B-Sports によって決定され、訓戒、罰金、ピットイン、タイムの加算、ドライビングスルーペナルティ、ペナルティストップ、周回数の減算、失格、以後大会の出場停止、等がその違反の軽重に応じて適用される。

2.2. 抗議

- 1) 参加者は自分が不当に処遇されていると判断する場合には、これに対してチームの責任者が抗議する権利を有する。ただし審判員の判定、B-Sportsの判定に対する抗議は受け付けられない。
- 2) 抗議は抗議申請書に抗議の趣旨および理由を記載し、チームの責任者の署名の上、抗議対象1件につき抗議料50,000円を添えてB-Sportsに提出しなければならない。抗議が正当と裁定された場合のみ抗議料は返還される。
- 3) 参加車両に対する抗議は、抗議対象となる箇所を明確に抗議申請書に記載しなければならない。抗議によって必要となった車両の分解に要した費用は、その抗議が否決された場合には抗議提出者、抗議が成立した場合は抗議対象者が支払うものとする。車両の分解等に要した費用はB-Sportsが算定した額とされる。
- 4) 車検の決定に関する抗議は、決定直後に提出しなければならない。
- 5) 競技の成績に関する抗議は暫定結果発表後30分以内になさなければならない。
- 6) 競技中の規則違反または過失、不正行為に関する抗議は、競技終了後30分以内になさなければならない。
- 7) 抗議審査に当たりB-Sportsは必要に応じ、関係当事者および競技役員等を承認として召喚し、陳述を求めることができる。B-Sportsは、関係当事者および競技役員等が欠席の場合でも審議、裁定することができる。
- 8) 審査後速やかに裁定を行うことができない場合、その裁定発表の日時と場所を明らかにして延期することができる。

9) 抗議に対する裁定は、B-Sportsが行い、抗議者に宣告される。本大会については、B-Sportsの裁定を最終のものとする。

23. 各大会賞典

1) 各大会の賞典は下記の通りとする。

順位認定された全員：ロードスター・マスターズ出場記念トロフィー

2) 順位認定された全員に賞典を授与する正式表彰式には、ドライバー本人または代理人の出席が義務付けられる。また、式典に出席しない場合には賞典の授与を拒否したとみなすが、各大会の正式競技結果の変更はない。

24. 本規定に記載されていない事項

本規定に記載されていない事項については、各大会の公式通知およびインフォメーションにより公示される。なお、本規定の変更や解釈はB-Sports ブルテンとしてB-Sports より公示される。

※前年度のレギュレーションからの変更点は下線（直線）、変更点に関わらず特に注意すべき点は波線で示す。